

左々木月樵先生新著

實驗の宗教

菊版美本三百頁餘

上製 定價金六拾
郵稅金拾

郵券代用一割増

人格の感化は、大靈の活ける攝取也。著者自己心の煩悶を解し、大安住の地を得んとして焦慮する多年。時に傳教に行き、弘法に行き、源信に行き、妙恵に行き、道元に行き、法然に行き、日蓮に行き、親鸞に行き、蓮如に行き、白隱に行き、各々其異なる人格の上に光れる宇宙の靈氣に接し、ここに自己の信念なるものを得たり。宗教の確立を見るに至れり。

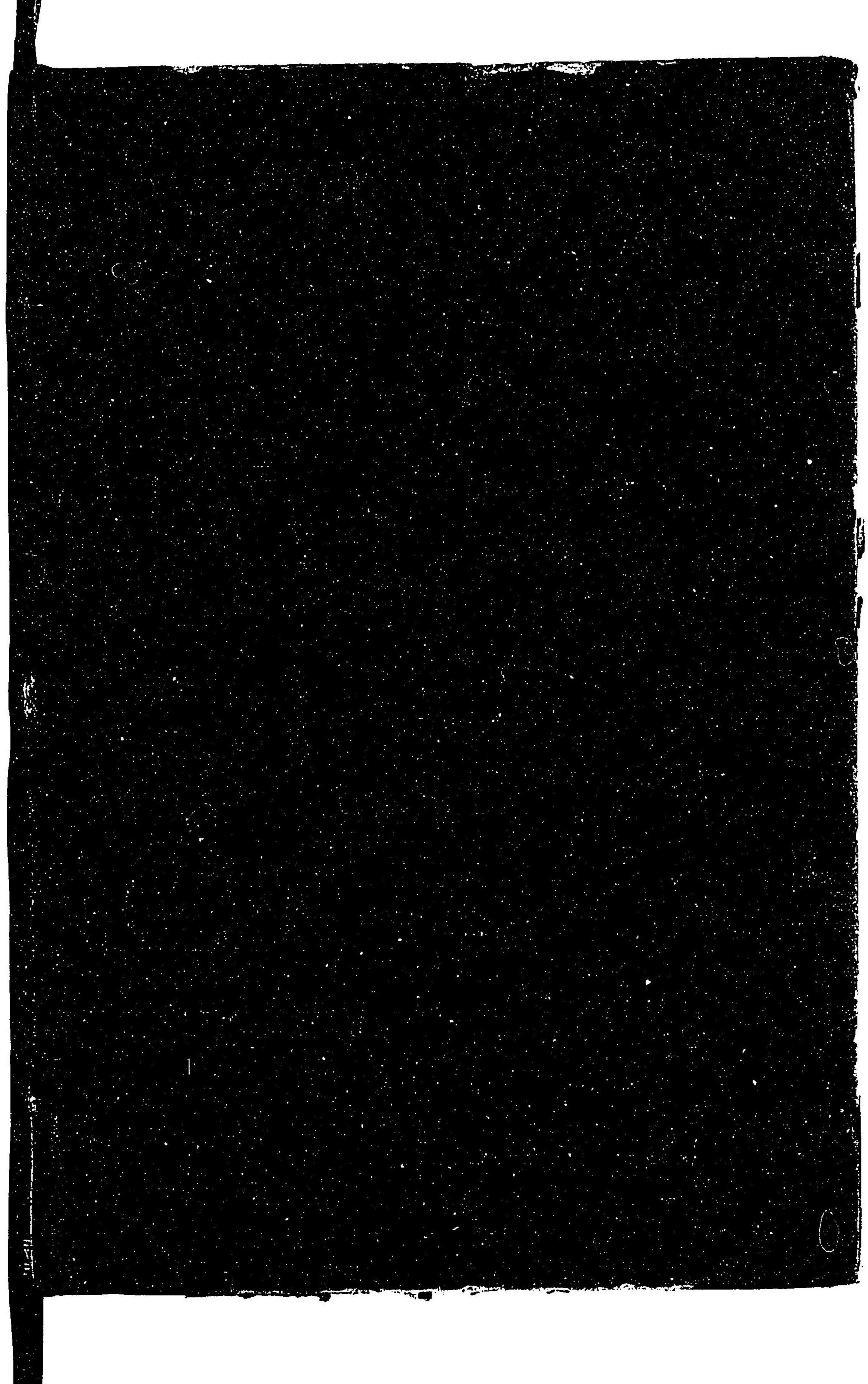
本書はカアライールの『英雄論』に似たり。エマーソンの『代表的人物論』に似たり。而して本書は之に同せず。その同せざる趣は讀んで明了なり。要するに本書は著者が人格の感化を受けたる靈感の記載也。故に、崇高なる人格に接して信念を得、修養に資せんと欲する人は、是非とも一讀せざるべからざる書也。

發兌元

東京本郷四丁目五番地

文明堂

45
372



45
372

007554-000-5

45-372

王陽明詳伝

高瀬 武次郎/著

M37

ACL-0007



